

# 認知症 01

認知症は、高齢になれば誰でもなる可能性があります。認知症の基礎知識を、4回に分けて掲載していきます。

## 認知症のサインを見逃さず、受診や相談はお早めに

### こんなことはありませんか？

シオ太郎は久しぶりに実家に帰ってきました。



シオ太郎が冷蔵庫を開けると、賞味期限切れのものや同じ食品が何個も入っていました。



年をとれば、誰でももの忘れが増えたり、計算が苦手になったりしますが、認知症は脳の病気により、少し前のことが覚えられなくなるなど日常生活に支障をきたした状態です。

認知症の初期には、覚えられない、すぐに忘れるといった記憶障害が現れます。左のイラストのように、買ったことを忘れ、同じ物を何度も買ってしまったりもしばしばあります。周りの人が「ちょっとおかしいな」と感じたときには、本人が生活で困っていることがないか聞いてみたり、様子をよく見てみたりしましょう。

### 「認知症」と「加齢」のもの忘れの違い

認知症によるもの忘れ	加齢によるもの忘れ
忘れたという自覚がない	もの忘れを自覚している
出来事の記憶がまるごと消える	出来事の記憶の一部が消える
ヒントをもらってもピンとこない	ヒントをもらえば思いだせる
日付、曜日、季節が分からなくなる	日付、曜日を間違えることがある

認知症は、時間とともに症状が進行する病気ですが、早期に発見して適切に治療やケア（周囲の人の関わり方など）をすることで、その人らしい生活を続けることができます。かかりつけ医または地域包括支援センターに相談ください。

☎ 長寿社会課地域支援係 ☎ 364-1204

## 今学校では... 75

塩竈市独自の小中一貫教育～未来に羽ばたく塩竈っ子のために～

## しおがま「学びの共同体」による授業づくり

小中一貫教育は、今年度で4年目を迎えました。市内すべての小中学校で、どの子ども「できる・分かる」喜びを味わえる授業づくりに取り組んでいます。

この授業づくりは、今年度からスタートした新学習指導要領の中核である「主体的・対話的で深い学び」による授業改善に取り組むものです。一人の教師が子どもたちに講義形式で授業を行う「一斉授業」から、子どもたちが対話を通して問題解決に取り組む「協同的な学びの授業」へ転換を図ります。

学校教育を再開するにあたり、基本的な感染症対策を徹底したうえで、3つの密を避けるように工夫し、安心して学ぶことができる環境を作ります。誰ひとり取り残すことなく、良さや可能性を伸ばす教育を行っていきます。



◀ 広い会場で、扉を開いたままでの研修会

市ホームページでは、塩竈市独自の小中一貫教育の取り組みについて掲載しています。右記 QR コードからアクセスできます。



☎ 学校教育課学校教育係 ☎ 365-3216